

= 活動報告 =

各種会議の概要

教育委員会

- ◇日時 8月2日(水) 15:00～16:00
- ◇場所 (一社)山梨県自動車整備振興会 会議室
- ◇出席者 村松委員長、深沢副委員長、清水委員、若林委員、山田委員、金子委員、小松委員
事務局：遠藤専務、落合常務、山下参与
- ◇会議事項 (1) 令和5年度委員会の検討事項について
(2) 第24回山梨県自動車整備技能競技大会について
(3) その他

総務委員会

- ◇日時 8月7日(月) 10:30～11:20
- ◇場所 (一社)山梨県自動車整備振興会 会議室
- ◇出席者 中島委員長、田口副委員長、遠藤委員、山縣委員、渡辺委員、杉野委員
事務局：遠藤専務理事、落合常務理事、飯島総務課長
- ◇会議事項 (1) 諸規定の見直しについて
(2) 自然災害等に対する対応について
- ◇報告事項 令和4年度公益目的支出計画事業の実施報告について

総務委員会では、自然災害等に対する対応についてとして、事務局のBCPマニュアルの運用を決定しました。会員工場におきましても、自然災害や感染症に対応・早期復旧するため、BCPマニュアルの運用を推奨します。日整連ホームページにおいて、ひな形がございますのでダウンロードしてご活用下さい。

BCPマニュアルのダウンロード方法

(一社)日本自動車整備振興会連合会ホームページ



次ページへ

 日整連の紹介	 マイカー点検情報	 自動車整備士資格情報	 情報開示情報	 整備事業関連情報	 イベントキャンペーン
① 消費税の増税に伴う対応 <ul style="list-style-type: none">② 消費税10%への対応について③ 軽減税率制度④ キャッシュレス・消費者還元事業	② 日整連ニュース <ul style="list-style-type: none">③ 自動車待たせ整備費減額制度④ 自動車待たせ整備費減額制度⑤ 自動車待たせ整備費減額制度	③ 保険・共済 <ul style="list-style-type: none">④ 自動車整備業共済会⑤ 「てんけん共済会」制度			
④ ユーザー説明用資料集 <ul style="list-style-type: none">⑤ はじめに⑥ 整備・定期点検の一般的な料金項目【自動車用】⑦ 整備・定期点検の一般的な料金項目【中型・大型トラック】⑧ 整備・定期点検の一般的な料金項目【二輪車】⑨ ●消耗・変形部品取替費用表	⑤ 統計・データ <ul style="list-style-type: none">⑥ 自動車待たせ整備費減額制度⑦ 自動車待たせ整備費減額制度⑧ 自動車待たせ整備費減額制度⑨ 自動車待たせ整備費減額制度⑩ 自動車待たせ整備費減額制度⑪ 自動車待たせ整備費減額制度⑫ 自動車待たせ整備費減額制度	⑥ 自動車整備工場のイメージに関するアンケート結果 <ul style="list-style-type: none">⑦ 自動車待たせ整備費減額制度⑧ 自動車待たせ整備費減額制度⑨ 自動車待たせ整備費減額制度			
⑦ PRTRの届出 <ul style="list-style-type: none">⑧ 新型コロナウイルス感染症により影響を受ける下請事業者の取組に関する取組について⑨ 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受ける事業者の取組に関する取組に関する一層の取組について⑩ 下請取引の適正化について⑪ 「下請取引適正化推進月報」の取組について	⑧ 下請事業者への配慮等について <ul style="list-style-type: none">⑨ 新型コロナウイルス感染症により影響を受ける下請事業者の取組に関する取組について⑩ 新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受ける事業者の取組に関する取組に関する一層の取組について⑪ 下請取引の適正化について⑫ 「下請取引適正化推進月報」の取組について	⑨ 台帳管理法の一部を改正する法律について <ul style="list-style-type: none">⑩ 自動車待たせ整備費減額制度			
⑩ 海水による被災冠水自動車への注意喚起について <ul style="list-style-type: none">⑪ 自動車待たせ整備費減額制度	⑪ 被災整備工場の整備機器の使用に関する安全確認 <ul style="list-style-type: none">⑫ 自動車待たせ整備費減額制度	⑫ 使用済自動車について <ul style="list-style-type: none">⑬ 自動車待たせ整備費減額制度			
⑬ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 経営自己診断システム <ul style="list-style-type: none">⑭ BCP（事業継続計画）					



日整連の紹介	マイカー点検情報	自動車整備士資格情報	整備情報速報	整備事業関連情報	イベントキャンペーン
① 新型コロナウイルス対策について ② FAINESの紹介 ③ 継続検査OSS関連窓口 ④ 次回自動車検査場検閲サービス ⑤ 自動車整備士会連合会 ⑥ リコール情報検索 ⑦ 環境省計画システム ⑧ 自動車整備技術者認定資格制度 ⑨ スキャンツール活用事業 ⑩ てんけん共済会 ⑪ 個人情報保護に関するご案内 ⑫ 消費税の増税に伴う対応 ⑬ 日整連ニュース ⑭ 保険・共済 ⑮ ユーザー説明用資料集 ⑯ 統計・データ ⑰ 自動車整備工場のイメージに関するアンケート結果 ⑱ PRTRの届出					

BCP（事業継続計画）

BCP（事業継続計画）とは？

BCP（事業継続計画）とは、自然災害やパンデミックなどにより企業が受ける影響や被害、被害を最小限に留めるための方法や手段を計画するものであり、緊急時における対策だけでなく、予防策として平常時の活動も含まれています。

BCPテンプレート 作成の背景

昨年、地震や大雨などの災害、被害の規模が拡大し、影響を受けた多くの企業が事業停止や倒産を余儀なくされているとともに、2020年からは新型コロナウイルスの感染拡大により、さらに多くの企業が危機的状況に置かれています。

また、自然災害等により事業活動が停止した場合、経営上の損失や貴重なビジネスチャンスを逃すリスクは従来に比べて格段に大きくなってきています。

こうした状況下において、BCPは企業経営の一環として重要なものとして認識されつつあることから、日整連及び整備連では、自動車整備事業者が取り組むべき対策を取り得る、各事業者が独自にBCPを策定することができるテンプレートを作成しました。

BCPテンプレートを以下よりダウンロード



本テンプレートの著作権は、一般社団法人日本自動車整備振興会（整備連）及び日本自動車整備工組合（整備連）に帰属します。日整連および整備連は、本テンプレートの全部又は一部を、営利目的の転用を問わず複製、改定、譲渡、貸与、口述、展示、公衆送信等することを禁じます。（テンプレートにおける「ダウンロード」は改定にはあたりません）

☆ 作成の手引きを「YouTube」で公開中 ☆

<https://www.youtube.com/watch?v=HFzxp6pwgJ0&t=22s>



経営委員会

- ◇日時 令和5年8月7日(月) 15:00
- ◇場所 (一社)山梨県自動車整備振興会 会議室
- ◇出席者 坂本委員長、藤井副委員長、水石委員、岩下委員、細田委員、興石委員、花田委員
- ◇会議事項 事務局：遠藤専務理事、落合常務理事、名取指導課長、山下参与
- (1) 令和5年度委員会の検討事項について
- (2) 令和5年度「点検整備推進 Web キャンペーン」について
- (3) AMS ステッカーの活用状況について
- (4) その他

常任理事会

- ◇日 時 8月25日(金) 17:00～18:00
- ◇場 所 ホテル談露館
- ◇出席者 小林会長、中島副会長、村松副会長、後藤副会長、田口常任理事、深沢常任理事、
藤井常任理事
事務局：遠藤専務理事、落合常務理事、塩島業務部長、飯島総務課長
塚原業務課長
- ◇会議事項 (1) 諸規定の見直しについて
(2) 商工組合商品引換券の廃止について
(3) 令和5年度「点検整備推進Webキャンペーン」について
(4) AMSステッカーの活用について

= お知らせ =

自動車点検整備推進運動の実施について

国土交通省より9、10月の2ヶ月間を重点期間として、「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開する旨の通知がありましたのでお知らせします。

令和5年度「自動車点検整備推進運動」実施要領 抜粋

【目的】

我が国の自動車保有台数は令和4年12月末現在で8千万台を超えており、国民の生活や経済の発展における役割は、ますます重要なものとなっている。

現行法上、自動車の使用者には自動車の適切な点検・整備の実施が義務付けられているが、それが使用者に十分理解されているとは言えず、例えば定期点検整備の実施状況は乗用車で6割程度に留まっている。また、大型車では、重大事故につながりうる車輪脱落事故が多発・増加するといった深刻な状況が続いており、大型バスにおいても、少数ではあるものの依然として車両火災事故が発生している状況である。

このような状況を鑑みれば、自動車の安全確保のための予防的な点検・整備が確実に実施されるよう、啓発を行っていくことが重要である。したがって、「不正改造車を排除する運動」など他の運動等との連携を図った相乗効果をねらいつつ、関係省庁や自動車関係団体等の協力を得て「自動車点検整備推進運動」を実施し、使用者に点検・整備の必要性や重要性を十分理解してもらうための取組を、全国的に展開することとする。

【重点項目】

- (1) 点検・整備の必要性や重要性の啓発(特に10代から30代の若者世代の使用者に重点を置く)
- (2) 大型車の車輪脱落事故防止対策を中心に、大型車に関する適切な点検・整備の実施方法についての啓発
- (3) 令和3年10月に新規追加された点検項目「車載式故障診断装置の診断の結果」の確実な実施についての周知・啓発